

ある冬の日

<今月の聖句> 「力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ。」
コリントの信徒への手紙二 12章9～10節

きりりと引き締まる冬の空気をはねかえすように
カいっぱい園庭を駆け抜ける子どもたちに
いのちの輝きを感じます。
むしろ寒さの中でこそ
互いに体を寄せ合い、心を触れ合わせながら
本当に大切なものを確認しているかのようです。
醍醐の山に響き渡るくったくの無い歓声に應えるように
砂場の脇にたたくむ紅白の梅の木の枝たちもぷっくり
つぼみを膨らませ、新しいいのちの準備をしています。

そんな子どもたちをもう50年以上も見守っている
醍醐教会の礼拝堂で先日、葬儀が執り行われました。
ご高齢の牧師先生が引退して、偶然、この地域に住んでおられ
最も近い教会で神さまのもとに送ってほしい。
最期を看取ったご家族の願いを受け止めて
たくさんのおやオレンジ、黄色の花に囲まれて
讃美歌に声を合わせ、鐘の音とともに
あたたかく、しめやかに、希望と平安の時がもたれました。
式の終わりに、ご長男の挨拶がありました。

「今、父は本当に喜んでいると思います。
現役時代、父の教会にはいつも保育園があって
子どもたちと過ごすのが何より好きな父でした。
そんな父が、今日、子どもたちの元気あふれる
声を聴きながら、神さまのもとに送られている。
本当にうれしいです。」

いのちは、いのちとつながり、さらに豊かにされていく。
神さまからゆだねられた保育園の素晴らしさを
実感した一日でした。

(つくし保育園園長 つだかすお)

<日曜日は教会へ！>

毎週日曜日あさ10時30分～ 醍醐教会（お庭のチャペル）
どうぞご家族一緒にお気軽にお越しください。
こども祝福、聖書の楽しいお話、美しい讃美歌。
神さまの愛を受け、新しい一週間をはじめましょう。